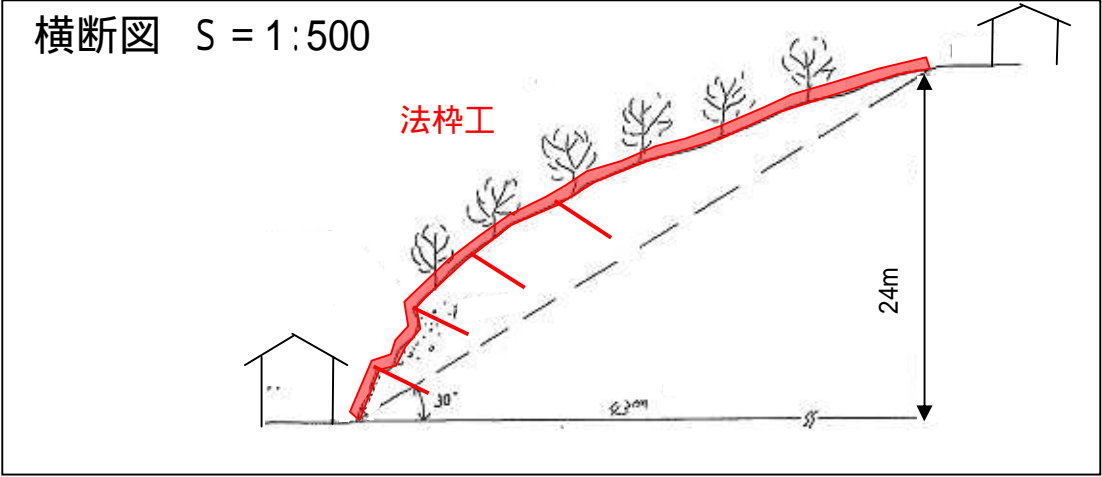
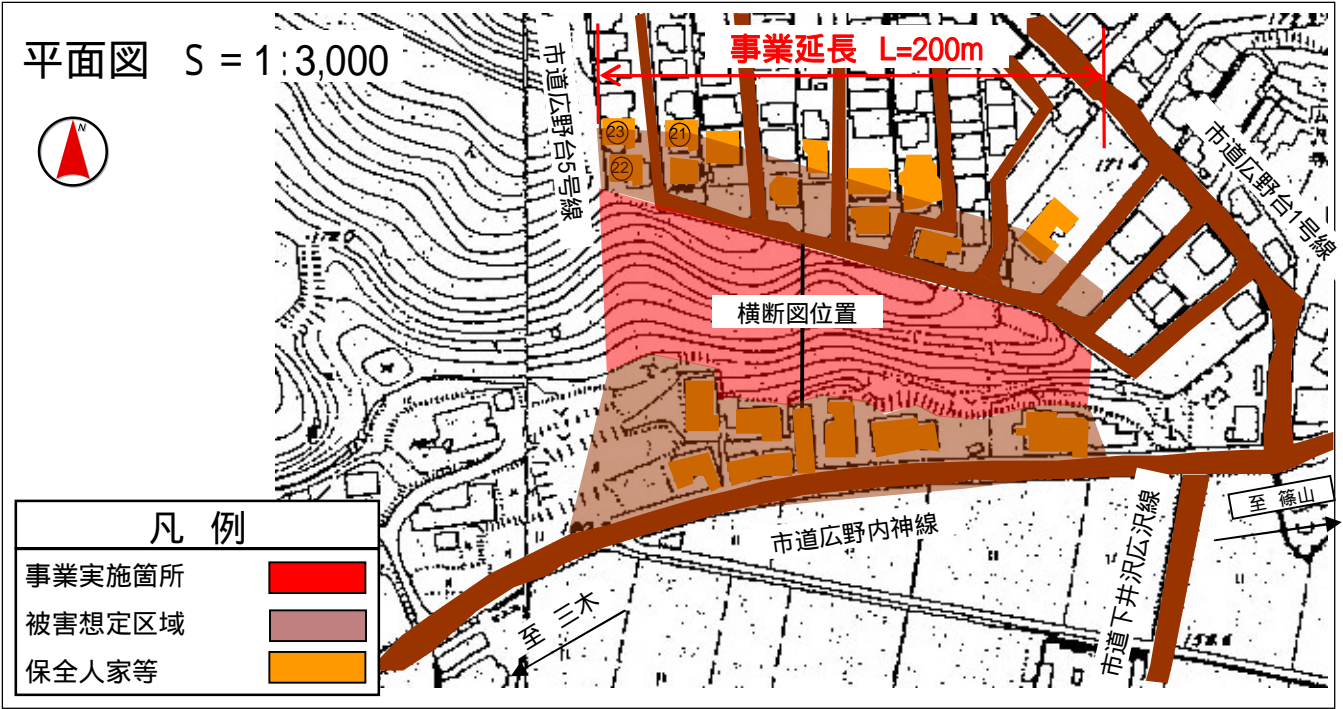
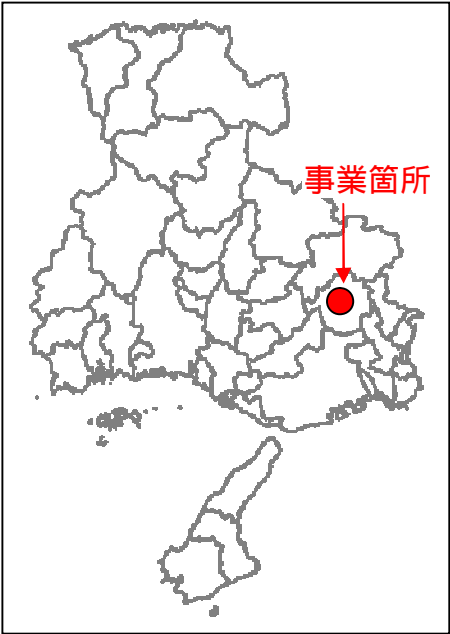


投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 （担当者氏名）	砂防課長 尾崎 幸忠 （ 鶴崎 尚夫 ）	内線	4459 (4467)
------	-----	---------------------	-------------------------	----	----------------

事業種目	急傾斜地崩壊 対策事業	事業名	事業区間	総事業費	2.4億円
		急傾斜地崩壊対策 ひろさわ 広沢地区	三田市 ひろさわ 広沢	内用地補償費	- 億円
所在地				着工予定 年 度	完成予定 年 度
三田市広沢				H22	H25
事業目的			事業内容		
急傾斜地崩壊による災害の防止 当地区は斜面崩壊の危険性が高く、急傾斜地崩壊危険箇所となっている。斜面上下部には人家や市道等があるため、防災工事を行い、地域の安全・安心な暮らしを支える。			急傾斜地崩壊対策事業 法枠工 L = 200m （負担割合 国 : 40.0% 県 : 40.0% 地元 : 20.0%）		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 〔地区の状況〕		<ul style="list-style-type: none"> ・ JR福知山線広野駅の南西約1kmに位置する急傾斜地崩壊危険箇所。 ・ 人家に近接した斜面の上・下部ともに切り立った状態。 ・ 過去の小崩壊跡も見られ、斜面崩壊の危険性が非常に高い。 			
〔保全対象等の状況〕		<ul style="list-style-type: none"> ・ 延長200m、幅40mの被害想定区域で、崩壊した場合の影響は大きい。 ・ <u>人家23戸、市道(約400m)</u> 			
(2)有効性・効率性 〔効果〕		<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 ・ 平成19年度には土砂災害警戒区域に指定しており、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。 			
〔事業執行環境〕		<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の同意を得ているため借地契約に問題はない。 ・ 工事予定箇所付近には市道があるため、工事用進入路に問題が無いことから円滑な事業執行が可能。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 法枠工の施工にあたっては、既存木を最大限残し、かつ法枠内に緑化を行うことで、周辺斜面との調和を図る。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 保全人家戸数が多く、早期着工に対する地元要望も強い。 <p>以上より、H22年度に事業着手し早急な対策が必要である。</p>			



箇所名	広沢地区
-----	------